



多収で収穫しやすい

農林27号 Ni27 (旧系統名KR96-93)

【栽培適地】沖縄県先島地域

農林27号(Ni27)は、2009年(平成21年)に命名登録、同年、沖縄県先島地域向けの奨励品種に採用されました。茎の揃いが良く、やや太茎で脱葉性が良いことから手刈りに向く高糖多収品種です。



左: Ni27
右: NiF8



芽子の形態
左側が若い芽子



立毛状態

来歴組合せ ♀NiF8 × ♂RF79-247

重要特性

「Ni27」は、沖縄県の協力のもと九州沖縄農業研究センターさとうきび育種ユニットが開発した品種です。NiF8を母親、RF79-247を父親とし、Ni17とは兄弟にあたります。試験開始はNi22やNi23と同じ1996年で同級生にあたりますが、台風による折損が見られたことから、注意深く観察されて品種になるのが少し遅くなりました。

- ・NiF8に比べて太茎で、長さ太さの揃いが良い。
- ・脱葉性が良く、側枝の発生もないことから手刈り収穫に向きます。
- ・収量、品質ともにNiF8よりも良く、可製糖量が多くなります。
- ・葉焼け病など葉身の病気への抵抗性が強いです。

■沖縄県農業研究センター宮古島支所(普及見込み地帯)における夏植え栽培での試験成績

	原料莖数(本/a)	一莖重(g)	原料莖重(kg/a)	ブ릭ス(%)	繊維分(%)	甘蔗糖度(%)	可製糖量(kg/a)
Ni27	658[106]	1501[116]	995[122]	19.0[101]	10.7[97]	14.5[104]	133[128]
NiF8	623	1289	814	18.9	11.0	13.9	104
宮古1号	716	1309	939	18.9	11.6	14.0	121

※H16~H19平均値、[]内はNiF8を100とした場合の比率

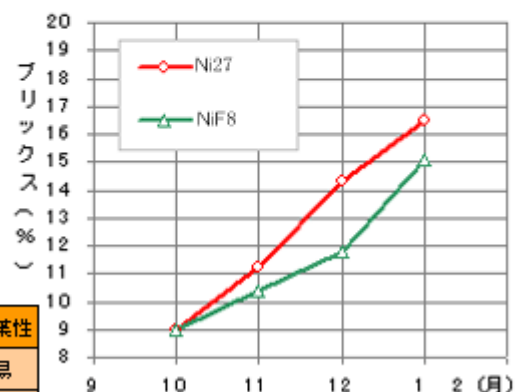
■病害抵抗性

	黒穂病	モザイク病	葉焼病	さび病
Ni27	中	強	強	強
NiF8	強	強	強	強
宮古1号	極強	極弱	中	強

■その他、主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	脱葉性
Ni27	良	やや弱	やや良	極少	やや強	易
NiF8	良	中	良	多	強	易
宮古1号	良	中	良	少	中	難

■Ni27のブ릭スの上昇



※Ni27のブ릭スはNiF8と同じくらい早期から上昇

栽培上の注意



- 伸長旺盛な時期に台風がくると風折が発生します。春植え、特に遅い春植えは絶対に避けましょう。
- 黒穂病抵抗性は中です。多発地帯では黒穂病の発生に注意する必要があります。

「Ni27」の形態的特性

草型は立葉で、葉は幅広で濃緑色です。葉鞘の長さは中程度で毛群はありません。やや太茎の偏茎重型で茎長はやや長くなります。

■葉身・葉鞘関連形質

	草型	葉身長	葉幅	葉色	葉鞘長	葉耳	毛群	ろう物質	花香素(葉鞘)
Ni27	立葉	中	広	濃	中	三角型	無	やや少	無
NiF8	立葉	中	広	濃	中	三角型	微	中	極淡紫
宮古1号	立葉	やや長	中	中	中	上昇下降型	無	やや多	無

■茎関連形質

	節茎の形態	茎色		茎長	茎径	亀裂	ろう物質	芽子の形	芽翼	突出度	芽溝
		基本色	複合色								
Ni27	円筒	黄緑	褐	やや長	やや太	極少	少	円	広	凸	無
NiF8	円筒	黄緑	淡紫	やや長	中	無	極多	円	中	凸	無
宮古1号	円筒	黄緑	濃紅	中	中	無	極多	卵円	やや広	やや凸	無



- 茎はやや太めで、長さ太さの揃いが良く、黄緑～黄褐色、倒伏時の曲がりにはスムーズで脱葉性が良いのを特徴とします。
- 葉・葉鞘・茎いずれも紫色を帯びず、葉鞘に毛はありません。